

海軍公報

(部内限)第三千三百九十一號

昭和十四年十二月二十二日(金)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第七九三八號

撰 要

昭和十四年十二月二十一日

海 軍 大 臣

各鎮守府司令長官
第一艦隊司令長官 殿
第二艦隊司令長官 殿

下士官及兵訓練ノ爲配員ニ關スル件訓令

昭和十五(教育)年度中途ニ於テ第一、第二艦隊ニ編入セラルベキ豫定艦船部隊ノ見張員、信號員並ニ電信員タルベキ下士官及兵ノ中一部ヲ訓練ノ爲夫々當該艦船部隊ノ編入セラルベキ艦隊ノ司令部ニ配員スベシ前項ニ依ル官、職階、員數等ハ鎮守府司令長官及艦隊司令長官協議ノ上之ヲ定ムルモノトシ配員中ノ人員ハ當該艦隊司令部ニ之ヲ臨時増置トス。

官房第六四九五號

昭和十四年十二月二十二日

官分ノ間海軍工機學校ニ於テ教育ノ爲製作スル物品及

之ニ要スル材料ノ取扱整理ニ關シ左ノ通定ム

昭和十四年十二月二十二日

海 軍 大 臣

- 一、横須賀海軍工廠長、海軍航空技術廠長、横須賀海軍需部長及海軍工機學校長ハ毎年三月海軍工機學校ニ於テ翌會計年度製作スベキ通常物品又ハ兵備品ノ品名及數量ヲ協議決定スルモノトス
- 前項ノ場合ニ於テハ横須賀海軍工廠長又ハ海軍航空技術廠長ハ豫メ其ノ所掌ニ應ジ海軍艦政本部長又ハ海軍航空本部長ノ承認ヲ受クルモノトス
- 二、前號ニ依リ海軍工機學校ニ於テ製作スル通常物品又ハ兵備品ニ必要ナル材料ハ造船造兵材料又ハ艦營需品材料品ヲ使用スルコトヲ得
- 三、第一號ニ依リ製作スル物品ハ艦船造修規則第五十二條及兵器造修規則第四十三條ニ規定スル工事施行範圍内ヲ標準トス
- 四、現品ノ授受並ニ整理ハ海軍通常物品會計規程又ハ海軍兵備品會計規程ニ依ルノ外左ノ各號ニ依ル

海軍公報(部内限)第三千三百九十一號

昭和十四年十二月二十二日

一四九七

- (イ) 横須賀海軍工廠又ハ海軍航空技術廠ノ通常物品會計官吏若ハ横須賀海軍軍需部兵備品會計官吏材料品ヲ假出スルトキハ海軍工機學校通常物品取扱主任若ハ兵備品取扱主任ノ預リ證ヲ徴スルモノトス
- (ロ) 海軍工機學校通常物品取扱主任又ハ兵備品取扱主任製作品ヲ送付スルトキハ送付票二通(内一通ハ受領票ニ代フ)及試験検査成績表一通ヲ添ヘ横須賀海軍工廠又ハ海軍航空技術廠ノ通常物品會計官吏若ハ横須賀海軍軍需部兵備品會計官吏ニ納付スルモノトス
- (ハ) 製作品ノ検査ハ海軍工機學校掛官立會ヒ横須賀海軍工廠長、海軍航空技術廠長又ハ横須賀海軍軍需部長ノ指定スル掛官之ヲ行フ
- (ニ) 不合格品及仕損品ニ對スル材料品ハ海軍工機學校之ヲ補填ス
- (ホ) 加工費(動力、燃料及消耗品ヲ含ム)ハ海軍工機學校ノ負擔トス
- (ヘ) 海軍工機學校長ハ本材料整理ノ爲特ニ部下判任官以上ニ通常物品取扱主任及兵備品取扱主任ヲ命ジ其ノ官職氏名ヲ關係各廳長ニ通報スルモノトス

○通牒

海人第二號ノ三八五

昭和十四年十二月二十二日

内令提
要登載

海軍省人事局長

各廳長殿

敍位一部官報ニ不登載ノ件通牒

海軍武官ニ對スル敍位ノ中左記該當ノモノハ當分ノ間官報ニ登載セラレザルコト相成候條了知相成度追テ本年十二月一日以後發令ノモノハ部内限海軍公報ニ掲載セラル

記

- 一、定期的進級及任用ニ依ル相當位
- 二、一時ニ多數ノ進級及任用ニ依ル相當位
- 三、定期敍位
- 四、離現役又ハ召集解除時ニ於ケル特旨敍位
- 五、其ノ他特ニ必要ナル場合

○辭令

長崎監理官ヲ命ス

海軍艦政本部造船監兵
會計官兼海軍航空本部造船
監督會計官海軍主計中佐

龍寶英夫

名古屋監理官ヲ命ス(以上三所海軍省)

海軍航空本部造船監督會計
官兼海軍艦政本部造船監兵
監督會計官海軍主計中佐

清水新一

海軍少佐 二反田三郎

第一課勤務ヲ命ス(以上三所海軍省人事局)

海軍公報(部内限)第三千三百九十一號

昭和十四年十二月二十二日

一四九九

○艦船所在

指▲印ハ「ハホ」ノ
定ヲ要セズ

○十二月二十二日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、戸高雄、夕張、戸長門、摩耶、戸劍埼▲、山城、駒橋、迅鯨、戸蒼龍、戸磐手、八雲、陸奥

島風▲、灘風▲、戸村雨、春雨、夕立、五月雨、沖風

戸伊一二三、伊六

富士▲、膠州、洲埼

【長浦】

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(伊一七)▲、(伊二三)▲、沙風、帆風、峯雲、夏雲、神風、沼風、呂五四、呂五五、呂五六、戸呂五七、呂五八、伊七、伊一二四

知床

【横濱】

(香取)▲、(鹿島)▲

北上▲、連▲、狹霧▲

【館山】

戸赤城

澤風、戸綾波、浦波、戸朝雲、山雲

戸掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六

【大湊】

戸波風、野風、呂五九

【函館】

萩

【吳】

矢矧、淺間、淀、日向▲、鳳翔、最上▲、嚴島▲、古鷹▲、戸加古、鬼怒、龍驤▲、大鯨、伊勢▲、扶桑▲、大井、長鯨、白龍、戸神通、鈴谷、初鷹、戸球磨、千代田▲、戸熊野、比叡

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、磯波、吹雪、戸東雲、白雲、薄雲、叢雲、霞▲、戸徹▲、陽炎、矢風、戸菊、戸天霧、朝霧、夕霧、葵、白雪、不知火

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、呂二八▲、伊五一▲、戸伊六八、伊七〇、伊六九▲、伊八▲、伊五三▲、伊五四▲、呂六四、呂六八、伊五、戸呂六三、戸伊五九▲、伊六〇▲、戸伊五五▲、戸伊五七、伊五八、伊五六、伊一六▲、戸伊七一、伊七二、伊七三、戸伊七五、伊七四、戸伊一二一、伊一二二

雁

戸掃一五、掃一六、掃二三、掃一四

攝津▲、明石、隱戸、間宮▲、石廊

(日進)▲、(伊九)▲、(伊一五)▲

彌生▲、如月▲、夕月▲、卯月▲

(隅田)▲、(黒潮)▲、(夏潮)▲

木曾▲

【神戸】

海軍公報(部内限)第三千三百九十一號

昭和十四年十二月二十二日

一五〇一

伊一、伊二、伊三

(瑞鶴)▲(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

(伊一九)▲(伊一〇)▲

【相生】芙蓉▲朝顔▲刈萱▲

鶴見▲

【玉】呂六二、伊四

(占守)▲

【因ノ島】水無月▲文月▲長月

【江田内】平戸▲

【舞鶴】吾妻▲多摩▲利根▲筑摩▲龍田、

長良、天龍

伊秋風▲夕風▲羽風、太刀風

伊五二▲

伊隼、鴨、鴻、鶴、千鳥

(親潮)▲(天津風)▲

【長崎】羽黒

【佐世保】常磐、那智▲青葉▲衣笠▲加賀、能登呂、

千歳、榛名、名取、阿武隈、由良、川内、

霧島▲金剛▲八重山、妙高

梨、竹、樫、桃、柳、檜、葦、蓬、菱、

葦▲柿▲檣▲初春、望月、睦月、菊月、

三日月、江風、涼風、海風▲山風、

白露、有明、夕暮、時雨、夕風、朝風、

阜月、峯風▲

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、

伊六六、伊六五、呂三三、

伊六二、伊六一▲伊六四、伊六七▲

呂六六、呂六五、呂六六

伊六一、掃一〇、掃九、掃一二

敷島▲早瀬、野島

(雪風)▲(磯風)▲(伊一八)▲(伊二四)▲

飛龍

伊初雪

【鎮海】伊追風、疾風

【作業地】伊出雲、伊安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、伏見、伊瑞穂、

伊島海、嵯峨、勝力、伊沖島

栗、榎、連、伊松風、朝風、伊若葉、子日、

初霜、伊春風、旗風

伊六三

鷺、鳩、雄、友鶴、初雁、伊真鶴

掃一七、伊掃一八、掃八、掃七

伊朝日、襟裳、大泊、佐多

【航海中】

伊矢(四日「ヒロ」發)横須賀(一)

室戸(十九日横須賀發)吳(一)

愛宕(二十一日横須賀發)館山(一)

伊那珂、伊五十鈴、伊大潮、朝潮、滿潮、荒潮、

伊響、雷、電、曉、伊潮、曙、朧、鳴戸(二十二日

横須賀發)佐伯(一)

海軍公報

(部内限)第三千三百九十二號

昭和十四年十二月二十三日(土)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第六五一〇號

提 導

昭和十二年官房第四四九〇號中左ノ通改正ス

昭和十四年十二月二十三日

海 軍 大 臣

本文中第二十表ノ下ニ「第二十表ノ二又ハ第二十表ノ三」ヲ加フ

別表備考中第六號ヲ削リ第七號ヲ第六號トス

(参照) 昭和十二年官房第四四九〇號ハ海軍戰時給與規則ニ依

リ糧食増給ノ件ナリ

○ 辭 令

海軍艦政本部附兼造船監督官

海軍技師 米元 竹平

東京監理官ヲ命ス

神戸監理官ヲ命ス

同

渡邊 兼吉

海軍艦政本部造船監督官

海軍技師 鈴木 義男

東京監理官ヲ命ス(以上 海軍省)

海軍少佐 二反田 三郎

海軍武官任用委員ヲ命ス

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

海軍武功調査委員ヲ命ス

海軍主計中將 金谷 隆一

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス

海軍主計中佐 初見 益五郎

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス

海軍主計少佐 茶谷 東海

財團法人海仁會設立委員會委員ヲ命ス(以上 海軍省)

支那方面艦隊司令部附

海軍主計大佐 稻岡 新

支那方面艦隊經費主任出納官吏ヲ命ス

海軍公報(部内限)第三千三百九十二號 昭和十四年十二月二十三日

一五〇三

艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

中華民國在勤帝國大使館附武官、駐在員事務所及上海海軍軍需品供給所ニ要スル經費支拂ノ爲資金前渡官吏ヲ命ス

海軍主計大佐 足立 又彦

支那方面艦隊經費主任出納官吏ヲ免ス

艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス

資金前渡官吏ヲ免ス（以上註明支出官海軍省經理局長）

海軍主計中佐 龍寶 英夫

在長崎首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍主計中佐 清水 新一

在名古屋監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍主計中佐 大橋 丈夫

總務部第二課勤務ヲ命ス（以上註明海軍航空本部）

○雜款

○呂號第六十二潜水艦行動豫定

地名 着

發

佐世保 十二月二十八日

十二月二十六日

○郵便物發送先

呂號第六十二潜水艦宛

十二月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保
其ノ後ハ

○事務所移轉

第二海軍燃料廠（假稱）設立準備事務所ヲ徳山海軍燃料廠内ニ設置中ノ處十二月十六日左記ヘ移轉セリ

記

一、移轉先

四日市市幸町

一、部外ニ對スル名稱竝ニ郵便物肩書

四日市海軍工場設立準備事務所

一、電話

四日市

一八二一番、一八二三番（晝間）
一八一九番（夜間）

○海軍經理學校第二十一期選修學生採用學術試驗問題
十二月二十日發送済

各鎮守府ニ於テ聯合試驗實施豫定ノ各部ニ對スル分ハ
各海軍人事部長宛其ノ他ノ分ハ各所轄長宛直送ス

試驗施行期日 昭和十五年自十一月十一日（木）
至一月十三日（土）

（海軍經理學校）

○試験問題發送

本校第十八期選修學生採用筆答試験問題十二月二十日
發送済

試験期日

自十一月十一日(木)
至十一月十三日(土)

(海軍軍醫學校)

○百里原海軍航空隊所在地及旅行経路等ニ關スル件
一、所在地 茨城縣東茨城郡橋村
二、下車驛 常磐線 石岡驛

(當隊迄陸路高濱小川經由一六・四軒)
同 高濱驛

(同 小川經由一二・〇軒)
鹿島參宮線(石岡乗換)常陸小川驛

(同 五・八軒)
高濱、石岡、小川各驛間乗合自動車ノ便
アルモ小川町當隊間ハ運行セズ轉入者ニ
シテ驛着時刻通知アラバ小川高濱驛ニ迎
便ヲ派遣ス

三、旅費支給上ノ順路

常陸小川驛ヲ發着驛トシ同驛橋村間陸路
一里三十一町(郵便線路圖)ナリ

四、最寄郵便局

茨城縣東茨城郡小川郵便局

五、電話

部内電話ハ霞ヶ浦海軍航空隊交換
(百里原海軍航空隊)

海軍公報(部内限)第三千三百九十二號

昭和十四年十二月二十三日

一五〇五

○艦船所在

指▲印ハ「ハ」セズ

○十二月二十三日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、口高雄、

夕張、口長門、摩耶、山城、駒橋、迅鯨、

蒼龍、口磐手、八雲、陸奥、愛宕

島風▲、灘風▲、口村雨、春雨、夕立、

五月雨、沖風、夏雲

口伊一二三、伊六

富士▲、膠州、洲埼

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(伊一七)▲、(伊二三)▲

【長浦】

汐風、帆風、峯雲、神風、沼風

呂五四、呂五五、呂五六、口呂五七、

呂五八、伊七、伊一二四

知床

【横濱】

(香取)▲、(鹿島)▲

【浦賀】

北上▲

漣▲、狹霧▲

(早潮)▲、(時津風)▲

【館山】

赤城

澤風、口綾波、浦波、口朝雲、山雲

口掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六

【大湊】

口波風、野風

呂五九

【函館】

萩

【吳】

矢矧、淺間、淀、日向▲、鳳翔、最上▲、

嚴島▲、古鷹、口加古、鬼怒、龍驤▲、

大鯨、伊勢▲、扶桑▲、大井、長鯨、白鷹、

口神通、鈴谷、初鷹、口球磨、千代田、

口熊野、比叡

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、

磯波、吹雪、口東雲、白雲、薄雲、叢雲、

霞▲、口霞▲、陽炎、矢風、口菊、口天霧、

朝霧、夕霧、葵、白雪、不知火

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一▲、口伊六八、伊七〇、

伊六九▲、伊八▲、伊五三▲、伊五四▲、

呂六四、呂六八、伊五、口呂六三、

口伊五九▲、伊六〇▲、口伊五五、口伊五七、

伊五八、伊五六、伊一六▲、口伊七一、

伊七二、伊七三、口伊七五、伊七四、

口伊一二一、伊一二二

雁

口掃一五、掃一六、掃一三、掃一四

攝津▲、明石、隱戸、間宮▲、石廊、室戸

(日進)▲、(伊九)▲、(伊一五)▲

彌生▲、如月▲、夕月▲、卯月▲

(隅田)▲、(黒潮)▲、(夏潮)▲

木曾▲

伊一、口伊二、伊三

海軍公報(部内限)第三千三百九十二號

昭和十四年十二月二十三日

一五〇七

【相生】 瑞鶴▲ (初風)▲ (伊二〇)▲ (伊二二)▲ 伊一九▲ (伊一〇)▲ 芙蓉▲ 朝顔▲ 刈萱▲ 鶴見▲	【玉】 呂六二、伊四 (占守)▲	【因ノ島】 水無月▲ 文月▲ 長月 平戸▲	【江田内】 吾妻▲ 多摩、龍田、長良、天龍 舞鶴▲ 秋風▲ 夕風▲ 羽風、太刀風 伊五二▲	【長崎】 伊集、鴨、鴻、鶴、千鳥 (親潮)▲ (天津風)▲	【佐世保】 羽黒 常磐、那智▲ 青葉▲ 衣笠▲ 加賀、能登呂、 霧島▲ 千歳、榛名、名取、阿武隈、由良、川内、 梨、竹、樫、桃、柳、檜、莖、蓬、菱、	伊三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、 伊六六、伊六五、呂三四、呂三三、 伊六二、伊六一▲ 伊六四、伊六七▲	伊三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、 伊六六、伊六五、呂三四、呂三三、 伊六二、伊六一▲ 伊六四、伊六七▲	伊三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、 伊六六、伊六五、呂三四、呂三三、 伊六二、伊六一▲ 伊六四、伊六七▲
呂六七、呂六五、呂六六 掃一、掃一〇、掃九、掃一二 敷島▲ 早瀬、野島 (雪風)▲ (磯風)▲ (伊一八)▲ (伊二四)▲ 飛龍	【寺島水道】 飛龍 初雪	【鎮海】 追風、疾風 作業地 戸出雲、戸安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、 保津、熱海、二見、伏見、戸瑞穂、 戸島海、磯峨、勝力、戸沖島 栗、梅、蓮、戸松風、朝風、戸若葉、子日、 初霜、戸春風、旗風 伊六三	鷺、鳩、雄、友鶴、初雁、戸眞鶴 掃一七、戸掃一八、掃八、掃七 朝日、襟裳、大泊、佐多	【航海中】 尻矢 (四日「ヒロ」發—横須賀—) 戸劍崎、戸那珂、戸五十鈴、戸大潮、朝潮、満潮、 荒潮、戸響、雷、電、曉、戸潮、曙、朧、鳴戸 (二十二日横須賀發—佐伯—) 戸利根、筑摩 (二十二日舞鶴發—佐伯—)				

海軍公報

(部内限)第三千三百九十三號

昭和十四年十二月二十六日(火)

海軍大臣官房

○通牒

官房第六四九四號

昭和十四年十二月二十二日

海軍次官

關係各廳長殿

揮發油容器取扱注意ノ件申進

大正七年官房第一六一二號申進首題ノ件ハ之ヲ廢止ス

艦營需品燃料取扱例規三三三頁參照

(済)

軍需燃第二二三號

昭和十四年十二月二十二日

海軍省軍務局長

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

「ドラム」罐及「ブリキ」罐取扱ニ

關スル件通牒

自今「ドラム」罐及「ブリキ」罐取扱ニ關シテハ左記

ニ依ルコトニ一定セラレ候條可然取計相成度

追而艦政需第一五七號(大正六年八月九日艦政局長

ヨリ各關係廳長宛)艦營需品燃料取扱例規一四七

頁參照) (舊規)

軍需燃第一九三號ノ二(昭和三年十一月二十三日

軍需局ヨリ關係各廳宛)艦營需品燃料取扱例規三

三三三頁參照) (舊規)

軍需燃第五三號(昭和八年三月十四日軍需局ヨリ關

係各廳宛)艦營需品燃料取扱例規三五四頁參照) (舊規)

軍需燃第一九七號ノ二(昭和十二年九月二十八

日軍需局長ヨリ各關係廳長宛)ハ自然消滅ノ義ト

承知相成度

記

第一、規 格

一、「ドラム」罐及「ブリキ」罐ノ規格ハ日本標準規格

ニ依ルモノトス

第二、罐 詰 量

二、「ドラム」罐及「ブリキ」罐ノ油類充填量ヲ左ノ通

海軍公報(部内限)第三千三百九十三號

昭和十四年十二月二十六日

一五〇九

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

七、「ドラム」罐ニ油類ヲ充填シタル時ハ其ノ天板ニ左ノ略號ヲ白塗具ヲ以テ記入スルモノトス（別圖一參照）

品 種 別 燃料取扱規程ニ定ムル品種ニ對スル記號ニ依ル

荷造應名 略語ヲ以テス（例德需）

荷造年月日 西洋數字ニテ横書ス

八、「ブリキ」罐口金ニハ略語ヲ以テ其ノ油種及荷造應名ヲ刻印スルモノトス但シ右口金ヲ使用セザル場合ハ赤塗具ヲ以テ品種ノミ記號ヲ以テ記入スルモノトス（別圖二參照）

九、本邦民間會社ヲシテ納入セシムベキ油類ノ「ドラム」罐詰ノ塗裝並ニ識別ハ本規程ニ準ジ行ハシムルモノトス

第五、包 裝

一〇、「ブリキ」罐箱ハ日本標準規格所定ノモノニ依ル
一一、「ブリキ」罐箱ニハ其ノ兩妻板表面ニ油種及容量並ニ荷造應名ヲ揮發油ニ在リテハ赤色其ノ他ノ油類ニ在リテハ黑色ノ「インキ」ヲ以テ印刷シ又片妻板ニハ荷造年月日及製品番號ヲ捺印スルモノトス（別圖三參照）

一二、油類入「ブリキ」罐ハ箱詰トシ葉繩ニテ二ヶ所緊縛スルモノトス

但シ揮發油及航空潤滑油以外ノ油類ニシテ近距離輸送其ノ他箱詰ノ必要ヲ認メザル場合ニ限り裸罐ノ儘トシ葉繩ヲ以テ緊縛スルコトヲ得

第六、雜

一三、「ブリキ」罐ニ注出孔ヲ穿ツ場合ハ己ムヲ得ザル場合ノ外其ノ口金部以外ヲ切開セザルモノトス但シ小徑ノ氣孔ヲ穿ツハ此ノ限ニ非ズ

一四、「ドラム」罐及「ブリキ」罐ノ貯藏並ニ輸送ニ際シテハ之ニ劇動、衝撃等ヲ與ヘザルト共ニ溫度昇騰ノ虞アル場所ニ貯藏ヲ避ケ特ニ夏日炎天ニ之ヲ暴露セザル様留意スルモノトス

附 則

現ニ使用中ノ刻印及刷版ハ更新ノ時期迄使用スルコトヲ得

（別圖三葉添）

○ 辭 令

水路部測量事務囑託 關根利三郎

海軍公報（部内限）第三千三百九十三號

昭和十四年十二月二十六日

一五二一

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(特許海軍省)

海軍技術會議議員海軍中將 澤本 頼雄
海軍高等技術會議議員ヲ命ス

朝鮮總督府技師 土橋 宜夫

海軍燃料廠鑛業部ニ於ケル鎮南浦繫船工事業務ヲ囑託ス(以上特許同)

○雜款

○旗艦一時變更
第六戰隊司令官ハ十二月十八日旗艦ヲ一時加古ヨリ古鷹ニ變更同日復歸セリ

○司令潜水艦變更
第十三潜水隊司令ハ十二月二十一日司令潜水艦ヲ伊號第百二十一潜水艦ヨリ伊號第百二十二潜水艦ニ變更セリ

○特務艦石廊行動豫定變更(本月十三日)

ヒロ發 二月十日

○郵便物發送先
聯合艦隊司令部、第一艦隊司令部、軍艦長門、陸奥、

第三戰隊司令部、軍艦金剛、榛名、第六戰隊司令部、軍艦加古、古鷹、第一水雷戰隊司令部、軍艦阿武隈、第二驅逐隊、第二十四驅逐隊、第二十七驅逐隊、第四潜水戰隊司令部、軍艦劍埼、第十八潜水隊、第十九潜水隊、第三十潜水隊宛
十五年一月二十日迄ニ到達見込ノモノハ

同 二十四日迄ニ	同 同	佐伯
二月 七日迄ニ	同 同	別府
同 十二日迄ニ	同 同	宿毛
同 二十六日迄ニ	同 同	大坂
三月 二日迄ニ	同 同	神戶
同 二十五日迄ニ	同 同	志布島
四月 四日迄ニ	同 同	高島
同 十四日迄ニ	同 同	志布島
同 二十八日迄ニ	同 同	志布島
其ノ後ハ	同 同	各所屬軍港

左記ニ依リ陸上無線電信所並ニ文書交換所ヲ設置ス
同期間電報ニハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

自十二月二十五日	佐伯
至一月二十日	同
自同 二十一日	別府
至同 二十四日	同
自同 二十六日	宿毛
至同 二十九日	同
自同 十三日	大坂

一五二

第八十四期普通科砲術
 第七十六期普通科測的砲術
 第七十二期普通科水雷砲術
 第七十二期普通科水雷機雷
 第三十二期普通科運用術操艦
 第三十三期普通科運用術應急
 右十二月十九日左記ノ通發送濟、未着ニシテ別ニ必要ノ向ハ海軍砲術學校ヘ至急御通知相成度

記

一、單獨試験施行豫定ノ各部ニハ直送セリ

二、聯合試験用ノモノハ各海軍人事部及各要港部宛送付

三、聯合試験參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲聯合試験參加不能ノ向ニ對スル分トシテ前記宛單獨試験用若干部送付シ置ケリ

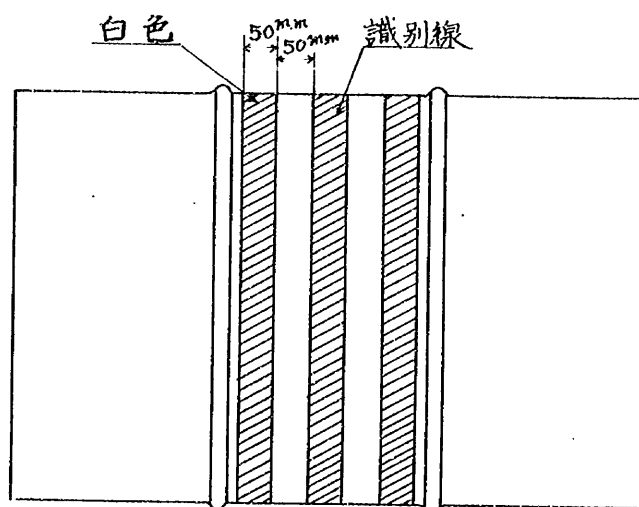
海軍砲術學校
 海軍水雷學校
 海軍航海學校

○正誤（別冊第幾級ノモノノ正誤不能ナリ）



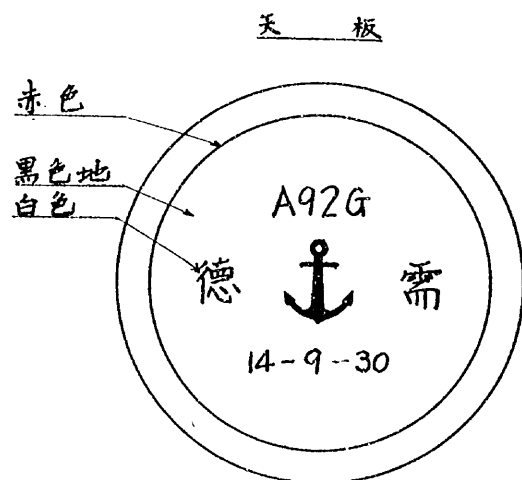
部外祕海軍購買名簿中改正昭和十四年十一月官房機密
 第四七二一號ノ二別冊中一頁「株式會社日本ゴム製造
 所」ハ株式會社明治ゴム製造所」ノ誤

1358 別圖一

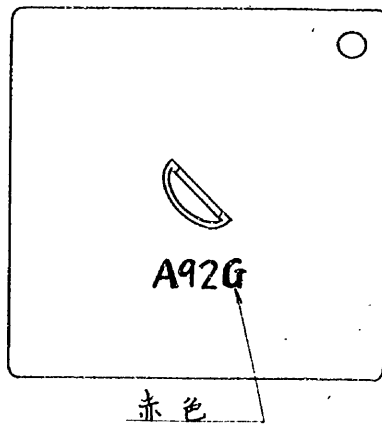


ドラム罐(徳山軍需支部詰航空九二揮發油場合)

(昭和十四年十月二十六日公報(部内限別圖))



別圖二



フリギ罐（航空九ニ揮發油場合）

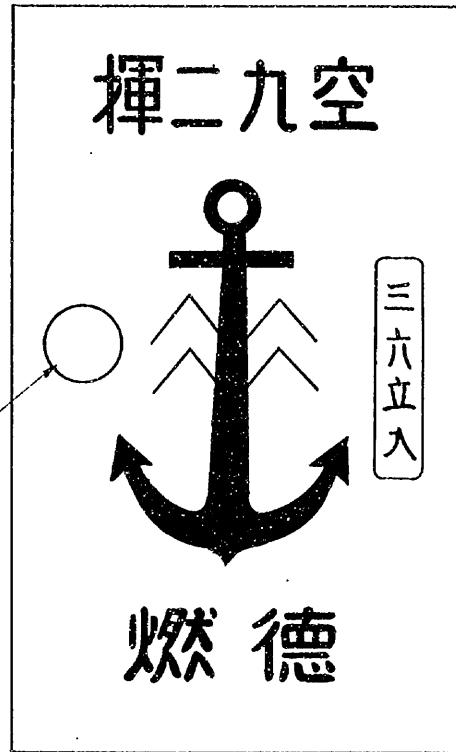


石油罐口金記號
（航空九ニ揮發油場合）

（昭和十四年十月二十六日公報（部内限）別圖）

別圖三

石油箱記號(德山燃料廠誌航空九二揮發油ノ場合)



スタンプ



スタンプ

(昭和十四年十月十六日公報(部内限)別圖)

○ 艦船所在

指定シ要セズ

○十二月二十六日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、夕張、摩耶、

山城、駒橋、迅鯨、蒼龍、八雲

島風▲、灘風▲、沖風、夏雲

伊一二三、伊六

富士▲、膠州、洲埼

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(伊一七)▲、(伊二三)▲

【長浦】

沖島

汐風、帆風、峯雲、神風、沼風、戸朝雲、

山雲

呂五四、呂五五、呂五六、戸呂五七、

呂五八、伊一二四

知床、尻矢

【横濱】

(香取)▲、(鹿島)▲

【浦賀】

北上▲

漣▲、狹霧▲

【館山】

(早潮)▲、(時津風)▲

【赤城】

澤風、戸綾波、浦波

【大湊】

戸掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六

【大湊】

戸波風、野風

【函館】

萩

【函館】

萩

【吳】

矢矧、淺間、淀、日向▲、鳳翔、最上▲、

嚴島▲、鬼怒、龍驤▲、大鯨、伊勢▲、扶桑▲、

大井、長鯨、白鷹、初鷹、戸球磨、千代田、

比叡

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、

磯波、吹雪、戸東雲、白雲、薄雲、叢雲、

矢風、戸菊、戸天霧、朝霧、夕霧、葵、

白雪、不知火

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一▲、伊八▲、呂六四、

呂六八、伊五、戸呂六三、戸伊五九▲、

伊六〇▲、伊一六▲、戸伊一二一、

伊一二二

戸掃一五、掃一六、掃一三、掃一四

攝津▲、隱戸、石廊、室戸

(日進)▲、(伊九)▲、(伊一五)▲

彌生▲、如月▲、夕月▲、卯月▲

(隅田)▲、(橋立)▲、(黒潮)▲、(夏潮)▲

木曾▲

伊一、戸伊二、伊三

(瑞鶴)▲、(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二三)▲、

(伊一九)▲、(伊一〇)▲

相生▲、芙蓉▲、刈萱▲

鶴見▲

【玉】 呂六二、伊四
(占守)▲

【因ノ島】 水無月▲、文月▲、長月

【江田内】 平戸▲

【佐伯】 長門、陸奥、金剛、榛名、加古、古鷹、阿武隈、劍埼、高雄、愛宕、熊野、鈴谷、利根、筑摩、那珂、五十鈴、村雨、春雨、夕立、五月雨、江風、涼風、海風、山風、白露、有明、夕暮、時雨、響、雷、電、曉、潮、曙、朧

伊五五、伊五七、伊五六、伊五八、伊六七、伊六六、伊六五、伊七、伊七五、伊七四、伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三

鳴戸、間宮、明石

【舞鶴】 吾妻▲、多摩、龍田、長良、天龍

伊秋風▲、夕風▲、羽風、太刀風

伊五二▲

伊隼、鴨、鴻、鵠、千鳥

(親潮)▲、(天津風)▲

【長崎】 羽黒

【佐世保】 常磐、那智▲、青葉▲、衣笠▲、加賀、能登呂、千歳、名取、由良、川内、霧島▲、八重山、妙高、飛龍

梨、竹、樵、桃、柳、檜、萆、蓬、菱

伊草▲、柿▲、榆▲、初春、望月、睦月、菊月、三日月、夕風、朝風、皇月、峯風▲

伊初雪

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂三四、呂三三、伊六二、伊六一▲

伊六四、呂六七、呂六五、呂六六

伊掃一、掃一〇、掃九、掃一二

敷島▲、早瀬、野島

(雪風)▲、(磯風)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲

【鎮海】 追風、疾風

【作業地】 出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、瑞穂、島海、嵯峨、勝力

栗、梅、逆、松風、朝風、若葉、子日、初霜、春風、旗風

伊六三

鷺、鳩、雄、友鶴、初雁、真鶴

掃一七、掃一八、掃八、掃七

朝日、襟裳、大泊、佐多

【航海中】 伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

伊六三

海軍公報

(部内限)第三千三百九十四號

昭和十四年十二月二十七日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第七九七一號

接

昭和十三年官房機密第五〇二六號ニ依リ昭和十四年度
ニ於テ採用スベキ各種練習生ノ員數中左ノ通改正ス
昭和十四年十二月二十六日

海軍大臣

表中特修科航空術ノ部爆撃ノ項中「一八」ヲ「一六」
ニ、同通信ノ項中「五」ヲ「四」ニ改メ同表備考ノ前
ニ左ノ如ク加フ

特修 科航空 術	爆撃	通信
	一	二
	上記員數ハ舞鶴鎮守府所管トス	

(昭和十三年九月十五日
昭和十四年十二月十四日)
本欄参照

○通 牒

官房機密第七九九九號

昭和十四年十二月二十七日

海軍省副官

各廳長殿

信書發送方法ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通外務次官ヨリ海軍次官宛通牒
有之候條了知相成度

(別紙)

文機密合第六三一九號

昭和十四年十二月十六日

外務次官 谷 正 之

海軍次官 住山徳太郎殿

信書發送方法ニ關スル件

在外帝國公館ノ報告ニ依レハ歐洲戰爭突發以來交戰國
及其ノ領域ニ於テハ嚴重ナル郵便物檢閲ヲナシ居ル現
狀ニ在リ從テ一般郵便物ハ勿論書留便ニ依ル各官廳郵
便物ト雖モ開披セラルコトナキヲ保シ難キ次第ニテ

海軍公報(部内限)第三千三百九十四號

昭和十四年十二月二十七日

一五一七

海軍公報（部内限）第三千三百九十四號 昭和十四年十二月二十七日

一五八

今後内容機密ノ信書ノ發送ニ付テハ充分ノ注意ヲ要ス
ルモノト認メラルルニ付御參考迄此段申進ス

經契機密第一〇九八號

昭和十四年十二月二十六日

海軍省經理局長

記

關係各廳長殿

統制契約ニ關スル件通牒

首題ノ件左記ノ通契約締結致候條該當品ハ本契約ニ依
リ處理相成度

追テ契約書ハ所要ノ向ニ別途配付ス

今後内容機密ノ信書ノ發送ニ付テハ充分ノ注意ヲ要ス ルモノト認メラルルニ付御參考迄此段申進ス		關係各廳長殿 統制契約ニ關スル件通牒	
經契機密第一〇九八號 昭和十四年十二月二十六日 海軍省 經理局長		首題ノ件左記ノ通契約締結致候條該當品ハ本契約ニ依 リ處理相成度 追テ契約書ハ所要ノ向ニ別途配付ス	
統制契約番號	契約品名	請 負 者	契約締結日
一四經契第四五號	防 毒 面	昭和化工株式會社	一四一・二二・二五
一四經契第一〇七號	振 錐 (更改)	不二越鋼材工業株式會社 株式會社 岡池製作所 合名會社 宇都宮製作所 株式會社 齊藤ツキストドリル製作所	一四一・一〇一・一
		自一四一・二二・二五 至一五一・三三・三一	自一〇一・一〇一・一 至一五一・三三・三一
○辭 令			
第二課勤務ヲ命ス(海軍省人事局) 海軍大佐 柳澤藏之助 海軍少佐 平本 道隆		○將旗撤去 練習艦隊司令官ハ十二月二十三日將旗ヲ撤去セリ	
教育部勤務ヲ命ス(海軍航空本部) ○將旗一時移揚 横須賀防備戰隊司令官ハ十二月十九日將旗ヲ一時由雲		○將旗一時移揚 横須賀防備戰隊司令官ハ十二月十九日將旗ヲ一時由雲	
○雜 款			

ニ、同二十一日山雲ヨリ第一號掃海艇ニ、同日朝雲ニ移揚セリ

○將旗移揚
第四潜水戰隊司令官ハ十二月十四日、十六日、十八日將旗ヲ劍埼ヨリ伊號第七潜水艦ニ移揚シ同日復歸セリ

○旗艦變更
第二航空戰隊司令官ハ十二月二十三日旗艦ヲ飛龍ニ變更セリ

○郵便物發送先
横須賀防備戰隊司令部宛
當分ノ間

軍艦千代田宛
自今
横須賀防備隊

軍艦伊勢宛
十五年一月十九日迄ニ到達見込ノモノハ
其ノ後ハ
第一艦隊司令部ニ同ジ

特務艦襟裳宛
十二月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ
其ノ後ハ
佐世保
吳

○試験問題發送濟

第二十一期選修學生採用試験問題十二月二十一日發送濟

但各鎮守府ニ於テ聯合實施豫定ノ各部ニ對スル分ハ
各海軍人事部長宛一括送付ス
(海軍兵學校)

○學生採用公試施行期日

海軍砲術、水雷、通信學校高等科學生及海軍航海學校
航海學生、運用學生

考試科目	考試施行期日	時限	記事
雜問(其ノ一)	昭和十五年二月十七日(土)	三時間(180分)	參考書ヲ許サズ
雜問(其ノ二)	昭和十五年二月十九日(月)	三時間(180分)	參考書ヲ許サズ
普通學 數學 英語(佛) 文和譯	昭和十五年二月十九日(月) 午後	四時間(240分)	辭書ヲ許ス

海軍砲術學校
海軍通信學校
海軍航海學校
海軍航空學校

○艦船所在

指印ハ「ハホ」ノ
定ヲ要セズ

○十二月二十七日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、夕張、摩耶、山城、駒橋、迅鯨、蒼龍、八雲、島風▲、灘風▲、夏雲、神風

伊一三、伊六

富士▲、膠州、洲崎、尻矢

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(伊一七)▲、(伊二三)▲

【長浦】▲沖島

沙風、帆風、峯雲、沼風、戸朝雲、山雲、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、戸呂五七、呂五八、伊一二四

知床

【横濱】(香取)▲、(鹿島)▲

【浦賀】北上▲

漣▲、狹霧▲

(早潮)▲、(時津風)▲

【館山】▲赤城

澤風、戸綾波、浦波

戸掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六

【大湊】戸波風、野風

【函館】萩 呂五九

【吳】

矢矧、淺間、淀、日向▲、鳳翔、最上▲、嚴島▲、鬼怒、龍驤▲、大鯨、伊勢▲、扶桑▲、大井、長鯨、白鷹、初鷹、戸球磨、千代田、比叡

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、磯波、吹雪、戸東雲、白雲、薄雲、叢雲、矢風、戸菊、戸天霧、朝霧、夕霧、葵、白雪、不知火

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、呂二八▲、伊五一▲、伊八▲、呂六四、呂六八、伊五、戸呂六三、戸伊五九▲

伊六〇▲、伊一六▲、伊一二一、伊一二二

伊一三三

戸掃一五、掃一六、掃一三、掃一四

攝津▲、隱戸、室戸

(日進)▲、(伊九)▲、(伊一五)▲

彌生▲、如月▲、夕月、卯月▲

(四田)▲、(橋立)▲、(黒潮)▲、(夏潮)▲

木曾▲

伊一、戸伊二、伊三

(瑞鶴)▲、(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

(伊一九)▲、(伊一〇)▲

瑞鶴▲、刈萱▲

鶴見▲

【相生】戸芙蓉▲、刈萱▲

【神戸】木曾▲

伊一、戸伊二、伊三

(瑞鶴)▲、(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

(伊一九)▲、(伊一〇)▲

瑞鶴▲、刈萱▲

鶴見▲

海軍公報(部内限)第三千三百九十四號

昭和十四年十二月二十七日

一五二

【玉】伊四

(占守)▲
水無月▲、文月▲、長月

【因ノ島】

平戸▲
△長門、陸奥、△金剛、榛名、△加古、古鷹、
△阿武隈、△劍埼、△高雄、愛宕、△熊野、
△阿武隈、△利根、筑摩、△神通、△那珂、
△五十鈴

【江田内】

△村雨、春雨、夕立、五月雨、△江風、涼風、
海風、山風、△白露、夕暮、時雨、△大潮、
朝潮、満潮、潮荒、△霞、霞、陽炎、
△響、雷、電、曉、△潮、曙、朧△伊五五、伊五三、伊五四、伊五七、
△伊五六、伊五八、△伊六七、伊六六、
△伊六五、伊七〇、△伊七五、伊七四、△伊六八、
伊六九、伊七〇、△伊七一、伊七二、伊七三鳴戸、間宮、明石
吾妻▲、多摩、龍田、長良、天龍

△秋風▲、夕風▲、羽風▲、太刀風

△隼、鵜、鴻、鵠、千鳥

(親潮)▲、(天津風)▲

【長崎】羽黒

【佐世保】常磐、那智▲、青葉▲、衣笠▲、加賀、能登呂、
△千歳、名取、由良、川内、霧島▲、△八重山、
妙高、磐手

【舞鶴】

△隼、鵜、鴻、鵠、千鳥

(親潮)▲、(天津風)▲

【長崎】羽黒

【佐世保】常磐、那智▲、青葉▲、衣笠▲、加賀、能登呂、
△千歳、名取、由良、川内、霧島▲、△八重山、
妙高、磐手

【長崎】

【佐世保】常磐、那智▲、青葉▲、衣笠▲、加賀、能登呂、
△千歳、名取、由良、川内、霧島▲、△八重山、
妙高、磐手【佐世保】常磐、那智▲、青葉▲、衣笠▲、加賀、能登呂、
△千歳、名取、由良、川内、霧島▲、△八重山、
妙高、磐手

【寺島水道】

△飛龍

【鎮海】

△初雪

【作業地】

△追風、疾風

【島海】

△出雲、△安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、
保津、熱海、二見、伏見、△瑞穂、
△島海、嵯峨、勝力【栗、梶、蓮、△松風、朝風、△若葉、子日、
初霜、△春風、旗風

【鷺、鳩、雉、友鶴、初雁、△真鶴

【掃一七、△掃一八、掃八、掃七

【朝日、襟裳、大泊、佐多

【航海中】

△朝顔

【石廊】

△二十五日相生發—舞鶴へ

【有明】

△二十五日吳發—羅府へ

【呂六二】

△二十六日佐伯發—宿毛へ

【呂六二】

△二十六日玉發—佐世保へ

【呂六二】

△二十六日玉發—佐世保へ

海軍公報

(部内限)第三千三百九十五號

海軍大臣官房

昭和十四年十二月二十八日(木)

○令 達

官房第二二九號ノ一二

雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス

昭和十四年十二月二十七日

海軍大臣

公稱番號 船種 舊所屬 新所屬 別定數 記 事

第三〇六號

(長七五米
幅八米)

橋船

佐世保海軍需部

佐世保海軍港務部

臨時附屬

舊呂號第二十三
潜水艦改造ノモ

官房第三八四〇號ノ七

今次事變ニ於テ鹵獲セル戦利砲艦一隻ヲ雜役船ニ編入

シ其ノ船種、船名、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十四年十二月二十七日

海軍大臣

船種 船名 所 屬 別定數 記 事

○通 牒

軍務四機密第三九八號

昭和十四年十二月二十八日

海軍省軍務局長

關係各廳長 殿

各海軍監理長 殿

首題ノ件商工省ト協議ノ結果鍛鋼業者自治團體タル鍛

鋼協議會(會員別紙第一參照)ヲシテ同協議會制定ノ

鍛鋼品統制規程(別紙第二)ニ依リ自治的ニ實施セシ

ムルコトニ相成候ニ付明年一月一日以降本規程ニ依リ

處理ノコトニ取計ハレ度

追テ統制規程第三條但書ノ證明ハ關係主務部局ニテ

爲スニ付證明申請書ハ海軍重要物資需給事務取扱要

領第三配給第一項配給統制物資ニ對スル配給(ロ)項ニ

工作船

飛渡瀬

佐世保海軍港務部
(支那方面經濟司令部
供用)

臨時附屬

支那事變戦利砲艦
民生

海軍公報(部内限)第三千三百九十五號

昭和十四年十二月二十八日

一五二三

海軍公報(部内限)第三千三百九十五號

昭和十四年十二月二十八日

一五二四

準シ處理相成度

(別紙第一及第二ハ所要ノ向ニノミ配付ス)

人祕第四號ノ一七

昭和十四年十二月十九日

海軍省人事局長

各廳長殿

支那事變第六回功績概見表ニ關スル件
申進

應名支那事變第六回功績概見表

廳長官氏名圖

區分	功績等級	期間	作戰行動、事變關係業務等	成果	參考事項	記	事
所屬長官 (司令官) 見							

備考

(一) 區分欄ニハ海軍官制ニ依ル同一所轄内ノ艦船、隊、部、課等ヲ記載スルモノトシ作戰行動、事變關係業務、成果等功績等級ヲ異ニスル毎ニ區分シテ記載スルコト

(二) 功績等級ハ一戰團毎ニ又ハ所要ノ都度所屬長官ヨリ

首題ノ件左記ニ依リ調製シ昭和十五年一月末日迄ニ到達スル様所屬長官經由進達相成度追テ遠隔ノ地ハ航空便其ノ他ニ依リ期日迄ニハ必ズ到達スル御取計ヲ得度

記

一、期間

自昭和十四年五月一日、至昭和十四年十二月三十一日

二、様式

- リ通達アリタル功績等級標準ヲ基準トシテ各戦闘、作戦行動、事變關係業務等ニ於ケル參加狀況其ノ他ヲ參酌シテ細分シタル功績等級ヲ附ス
- (三) 功績ナシト認ムル期間ニ於テモ功績等級欄ニ「無功績」ト記シ行動業務ノ概要ヲ參考事項トシテ記載ス
- (四) 作戦行動、事變關係業務等ニシテ特ニ戰果ニ好影響ヲ齎ラセリト認ムル事項ハ連記セス特ニ一項ヲ設ケテ記載ノコト
- (五) 部外ノ團體等ニシテ事變ニ關シ直接海軍ノ行動ヲ援助シ功績アリタル者ノ功績概見表モ前各項ニ準シ關係廳長ニ於テ調製スルモノトス
- (六) 任務報告、事變關係行動又ハ業務ニ關スル主要發受信寫並ニ行動圖、美談集其ノ他功績審査上必要ト認ムル圖誌ハ全部本表ニ添付ス、但シ事變日誌、戰闘詳報等海軍省宛提出ノコトニ定メラレタル書類及之等ニ記載済又ハ記載豫定ノモノヲ除ク

○ 辭 令

海軍中佐 田口 正一(雪風)

海軍公報(部内限) 第三千三百九十五號

昭和十四年十二月二十八日

一五二五

(各通)		(各通)	
同	田中正雄(艦本)	同	海軍機關大佐
海軍少佐	阿金一夫(佐鎮)	同	海軍機關中佐
海軍大尉	阿部浩一(雪風)	同	海軍機關少佐
同	荒瀬潤三(同)	同	海軍造船少佐
同	磯部慶二(同)	同	同
同	島田藤治郎(艦本)	同	海軍大佐
同	田中千春(佐鎮)	同	海軍中佐
同	片山繁(雪風)	同	海軍大尉
同	生野勝郎(艦本)	同	海軍中尉
同	岡村恒四郎(佐廠)	同	海軍中尉
驅逐艦雪風審議委員ヲ命ス		(各通)	
水井靜治(艦本)	同	海軍中尉	同
岡本次郎(黒潮)	同	海軍大尉	同
常盤貞藏(同)	同	海軍中尉	同
井上國平(同)	同	海軍中尉	同
二宮金儀(同)	同	海軍中尉	同
富田一郎(艦本監)	同	海軍中尉	同
松本正彦(艦本)	同	海軍中尉	同
宇野重三郎(黒潮)	同	海軍中尉	同
飯河品(艦本監)	同	海軍中尉	同
山口宗夫(艦本)	同	海軍中尉	同

海軍公報（部内限）第三千三百九十五號 昭和十四年十二月二十八日

一五二六

海軍技師 中村 榮（艦本監）
 驅逐艦黑潮審議委員ヲ命ス（以上^{計七名}海軍艦政本部）

海軍中佐 久野 修三

恩賜研學資金受賞者餘衡委員ヲ命ス（^{計七名}海軍省）

○ 雜 款

○將旗一時移揚

第二遣支艦隊司令長官ハ十二月二十五日將旗ヲ一時第十八號掃海艇ニ移揚セリ

○郵便物發送先

第四艦隊司令部、軍艦千歲、第三十驅逐隊宛

五年一月五日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保

同 二十三日迄ニ 同 横須賀

軍艦神威宛

五年一月三日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀

○艦船所在

指▲印ハ「ホ」ノ
定ヲ要セズ

○十二月二十八日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、夕張、摩耶、山城、駒橋、迅鯨、蒼龍、八雲

島風▲、灘風▲、夏雲、神風

伊一三、伊六

富士▲、膠州、洲埼、尻矢

(高崎)▲、(翔鶴)▲、(伊一七)▲、(伊二三)▲

【長浦】

沖島

汐風、帆風、峯雲、沼風、朝雲、山雲、

沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、

呂五八、伊一二四

知床

【横濱】

(香取)▲、(鹿島)▲

【浦賀】

北上▲

漣▲、狹霧▲

(早潮)▲、(時津風)▲

【館山】

赤城

澤風、綾波、浦波

伊掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六

【大湊】

波風、野風

呂五九

【函館】

萩

【吳】

矢矧、淺間、淀、日向▲、鳳翔、最上▲、

嚴島▲、鬼怒、龍驤▲、大鯨、伊勢▲、扶桑▲、

大井、長鯨、白鷹、初鷹、球磨、千代田、

比叡

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、

磯波、吹雪、東雲、白雲、薄雲、叢雲、

矢風、伊菊、天霧、朝霧、夕霧、葵、

白雪、不知火

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一▲、伊八▲、呂六四、

呂六八、伊五、呂六三、伊五九▲、

伊六〇▲、伊一六▲、伊一二一、

伊一二二

伊一二三

伊一二四

伊一二五、掃一六、掃一三、掃一四

伊一二六、隱戸、室戸

(日進)▲、(伊九)▲、(伊一五)▲

(彌生)▲、如月▲、夕月▲、卯月▲

(隅田)▲、(橋立)▲、(黒潮)▲、(夏潮)▲

伊一、伊二、伊三

(瑞鶴)▲、(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、

(伊一九)▲、(伊一〇)▲

芙蓉▲、刈薺▲

鶴見▲

海軍公報(部内限)第三千三百九十五號

昭和十四年十二月二十八日

一五二七

【玉】伊四

(占守)▲

【因ノ島】

水無月▲、文月▲、長月

【江田内】

平戸▲

【佐伯】

長門、陸奥、金剛、榛名、加古、古鷹、
阿武隈、劍埼、高雄、愛宕、熊野、
鈴谷、利根、筑摩、神通、那珂、
五十鈴

村雨、春雨、夕立、五月雨、江風、涼風、
海風、山風、白露、夕暮、時雨、大潮、
朝潮、満潮、潮荒、霞、霞、陽炎、
響、雷、電、曉、潮、曙、臘伊五五、伊五三、伊五四、伊五七、
伊五六、伊五八、伊六七、伊六六、
伊六五、伊七、伊七五、伊七四、伊六八、
伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、
鳴戸、間宮、明石

吾妻、多摩、龍田、長良、天龍

秋風、夕風、羽風、太刀風

隼、鴨、鴻、鵠、千鳥

(親潮)▲(天津風)▲

長崎

佐世保

常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登呂、
千歳、名取、由良、川内、霧島、八重山、
妙高、磐手

【舞鶴】

吾妻、多摩、龍田、長良、天龍

秋風、夕風、羽風、太刀風

隼、鴨、鴻、鵠、千鳥

(親潮)▲(天津風)▲

長崎

佐世保

常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登呂、
千歳、名取、由良、川内、霧島、八重山、
妙高、磐手

【寺島水道】

飛龍

初雪

追風、疾風

鎮海

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風

追風、疾風